



鈴木俊一衆議院議員

自民党総務会長に就任



安倍晋三総裁は、9月11日に党役員人事を行い、党四役では二階俊博幹事長、岸田文雄政務調査会長が再任され、新たに鈴木俊一衆議院議員が総務会長に就任、下村博文衆議院議員が選挙対策委員長に就任し、当県選出の鈴木俊一衆議院議員が党四役の一員の重要ポストを担うこととなりました。父親の故鈴木善幸元首相も同じ総務会長を長年務められました。総務会は党の常設の最高意思決定機関であり、複雑化する国際情勢や憲法改正の問題等国内外の重要課題が山積する中、鈴木総務会長の手腕が大いに期待されるところです。

藤原たかし衆議院議員

内閣府大臣政務官兼復興大臣政務官に就任

藤原たかし衆議院議員は、9月13日の閣議で、第四次安倍第二次改造内閣での内閣府大臣政務官兼復興大臣政務官に就任いたしました。内閣府大臣政務官として地方創生や一億総活躍、少子化対策、規制改革などを担います。また、復興大臣政務官としては総合調整や岩手復興局に関する業務などを担当することとなります。被災県である本県出身の政務官が誕生し、今後ますますの活躍が期待されます。



令和元年

岩手県知事選挙・岩手県議会議員選挙

及川あつし氏猛追及ばず惜敗 県議会は自由民主党と改名し13名の会派に

岩手県知事選挙は、去る9月8日に投票が行われ、わが党と公明党、超党派などが推薦する及川あつし氏が惜しくも敗れました。岩手県議会議員選挙の無投票選挙区が多かった要因等も重なり、投票率は過去最低の53.46%となりました。及川氏と野党統一の現職候補による一騎打ちとなった今回の岩手県知事選挙では、東日本大震災津波からの復旧・復興や、現職知事による県政運営の評価などが争点となりました。選挙戦で及川氏は、与野党の垣根を越えた超党派の45人の岩手県議会議員現職、新人、OBが立ち上げた「新しい知事をつくる会」の支援を受け、東日本大震災津波からの復旧・復興の加速や人口減少対策、ILC(国際リニアコリアイダー)の誘致などを訴えたほか、対立から強調へ、県政の転換を目指しました。結果は及ばなかったものの、及川氏は現県政への不満を着実に集めました。また、同日投票が行われた岩手県議会議員選挙では、わが党公認・推薦候補者17人中、14人が当選、県議会における会派名をこれまでの自由民主党クラブから自由民主党に改名し、新たに13名で会派を結成しました。

